第3回OpenStack専門カンファレンス「OpenStack Days Tokyo 2015」を開催

楽天、GMOインターネットに聞く スーパーユーザインタビュー
「なぜ彼らはOpenStack を使うのか?」
プロジェクト創始者Mark Collier氏が来日し基調講演。
OpenStack Summit 2015 東京開催に向けてアピール！

オープンソースで開発されるクラウド基盤ソフトウェアである OpenStack の普及促進に取り組む日本OpenStack ユーザ会（会長：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 中島 倫明、以下 JOSUG）のOpenStack Days Tokyo 2015実行委員会は、2015年2月3日(火)・4日(水)の2日間、OpenStack 専門カンファレンスである「OpenStack Days Tokyo 2015」を、グランドプリンスホテル高輪にて開催します。

今年2月に開催された第2回「OpenStack Days Tokyo」は、国内外27社が参加し、約1,100名の来場がありました。第3回は、参加企業が開始3週間足らずで講演・展示ともに募集枠が満杯となる盛況ぶりで、OpenStackへの取り組みがいよいよ本格化し、エコシステムが拡大していることがうかがわれます。現在、国内外40社の参加が決定していますが、その約半数が新規参加企業です。
また、富士通、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、TIS、および、レッドハット、Mirantis(ミランティス)、華為(ファーウェイ)技術日本、そして日本オラクルなどの国内外の大手企業の新規参加が目立つのも特徴です。イベントWebサイトで本日11月25日から登録受付けを開始しており、2日間で2,000名の来場を見込んでいます。

オープンソースでクラウドインフラを構築・運用できるOpenStack は、今後のIaaSの標準になると注目を集めています。自社に最適なクラウドインフラを柔軟に構築できるだけでなく、OpenStack ベースのパブリッククラウドも増え、自社内のOpenStack環境と相互に連携できる環境も急速に整いつつあり、海外はもとより国内でもその導入事例は増加しています。「OpenStack Days Tokyo 2015」は、「創る、活かす、つなぐ」をテーマとして、仮想サーバー、ネットワーク、ストレージ管理用の各種機能セットについて、既存オンプレミス／プライベートクラウド／パブリッククラウドのハイブリッド運用に向けた導入・移行のポイント、コミュニティやエコシステムの活用法、OpenStack の今後など、様々な方向から最新情報が得られるプログラムをご提供します。

初日の基調講演は、OpenStack Foundation のCOOとして、OpenStack開発コミュニティとビジネスエコシステムを成長させるためのマーケティングやビジネスディベロプメントを主導する Mark Collier（マーク・コリアー）氏を今回も招聘し、コミュニティの最新情報や、グローバルのOpenStack

エコシステムや最新の導入事例などについて講演いただきます。
また、OpenStack
の開発コミュニティの主要メンバー、開発ベンダー、ユーザが一堂に会するグローバルな一大イベント「OpenStack Summit in Tokyo 」 が、2015年10月
に東京で開催されることが決定しており、日本の関係者、ユーザに向けて参加、協力を呼びかけます。

2日目の基調講演は、「スーパーユーザインタビュー ～なぜ彼らはOpenStack
を使うのか?～」と題して、仮想化基盤からOpenStack
クラウドへの移行を進める楽天、ならびにVPS
からクラウドへ、あらゆるサービスの基盤としてOpenStack
を活用するGMOインターネットに、黎明期からOpenStack
を追い続けている第一人者である三木泉氏が、ビジョン、課題について鋭く切り込みます。先進ユーザは、なぜクラウドを目指しOpenStack
を採用するのか、今後企業のITシステムはどう変わっていくのか、示唆に富むセッションが展開されます。

※スポンサー講演を含むプログラム詳細、および最新情報は以下をご覧ください。
http://openstackdays.com/program/

◆ 開催概要
http://openstackdays.com/

◇名 称 ：OpenStack Days Tokyo 2015
◇テーマ：創る、活かす、つなぐ

◇会 期 ：2015年2月3日(火) ・ 4日(水)
◇会 場 ：グランドプリンスホテル高輪 B1F (JR品川駅から徒歩5分)
http://www.princehotels.co.jp/takanawa/access/

◇主 催 ：OpenStack Days Tokyo 2015 実行委員会
実行委員長：株式会社ビットアイル 長谷川 章博
◇後 援 ：総務省、経済産業省、一般社団法人クラウド利用促進機構(CUPA)
(予定) Cloud Business Alliance (CBA)
仮想化インフラ・オペレーターズグループ (VIOPS)
Open Standard Cloud Association (OSCA)
日本OSS推進フォーラム
特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム

◇内 容 ：基調講演、スポンサー講演、併設展示
◇対 象 ：クラウドを導入したいCTO・CIO層、クラウドビジネスの企画者、
クラウド業界のビジネスユーザ、クラウド業界内開発者、パートナー企業、
データセンタ・テレコム業界のビジネスユーザ、ICTへの関心と利用率の高いビジネスユーザ

◇定 員 ：2,000名(予定)
◇参 加 ：無料 (事前登録制)

◇申 込 ：以下のWebサイトから
http://openstackdays.com/
◇〆 切 ：2015年1月27日(火) 17:00迄
※定員となり次第締め切らせていただきます

◆「OpenStack Days Tokyo 2015」協賛企業

2014年11月25日　現在 40社（★印は今回の初参加 / 50音順）
※最新の協賛状況は以下をご参照ください。
http://openstackdays.com/sponsor/

[ダイアモンドスポンサー]
日本電気株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社

[プラチナスポンサー]
Canonical Ltd.
Mirantis ★
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
ジュニパーネットワークス株式会社
デル株式会社
ノベル株式会社
ブロケードコミュニケーションズシステムズ株式会社
ミドクラジャパン株式会社
ミラクル・リナックス株式会社 ★
レッドハット株式会社 ★

[ゴールドスポンサー]
EMCジャパン株式会社 ★
TIS株式会社 ★
ヴィアーマーネットワークス合同会社 ★
株式会社日立製作所
東京エレクトロンデバイス株式会社
日商エレクトロニクス株式会社
日本ストラタステクノロジー株式会社
ネットワンシステムズ株式会社
富士通株式会社 ★
ユニアデックス株式会社 ★

[シルバースポンサー]
A10ネットワークス株式会社 ★
Big Switch Networks 株式会社 ★
KVH株式会社 ★
NECネッツエスアイ株式会社
ヴィーエー・リナックス・システムズ・ジャパン株式会社
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 ★
沖縄オープンラボラトリ ★

サイオステクノロジー株式会社 ★
株式会社アルティマ(出展 メラノックス社)

[ブロンズスポンサー]
F5ネットワークスジャパン株式会社 ★
GMOインターネット株式会社
PLUMgrid
株式会社オープンソース活用研究所 ★
日本オラクル株式会社 ★
クリエーションライン株式会社 ★
日本仮想化技術株式会社
株式会社ビットアイル
華為技術日本株式会社 ★

■ OpenStack Summit Tokyoについて

OpenStack
の開発コミュニティ、関連ベンダー、ユーザなどの様々なエコシステムのメンバーが一堂に会するグローバルな一大イベントである「OpenStack Summit」(主催：OpenStack Foundation)は、毎年2回、夏は北米、秋はその他の国で開催されますが(2013年はポートランドと香港、2014年はアトランタとパリ)、2015年は東京で開催されることが決定しました(北米はバンクーバー)。OpenStack
Foundationと協力関係にあるOpenStackユーザ会は、東京への誘致活動でも尽力してきました。今後も東京開催に向けて密に連携してまいります。

■ OpenStack / OpenStack Foundationについて

---

http://www.openstack.org/
OpenStack（オープンスタック）
は、パブリック/プライベートクラウド基盤を構築するオープンソースソフトウェアでグローバルなコミュニティにより開発されています。標準的なハードウェア上で、KVM、Xen、VMware ESXi、Hyper-Vなどの仮想化ソフト（ハイパーバイザー）と組み合わせ、IaaS（Infrastructure as a Service）
やストレージサービスを提供するための仮想マシンやストレージ、ネットワークの管理機能などを提供します。OpenStack
プロジェクトは、2010年、大手データセンター事業者である米Rackspace（ラックスペース）社と米航空宇宙局（NASA）が中心となって開発し、2012年に設立された非営利団体OpenStack Foundation に開発やライセンスの管理が移管されました。その後、HP、IBM、DELL、Cisco、Red Hatなど大手ベンダーをはじめとし、100ヶ国850余の企業・団体の企業・団体の支持を得て、13,000名余の開発者を抱えるまでに成長し、既に世界中の多くのサービスがOpenStack
をクラウド基盤として利用しています。

■OpenStack Days Tokyo 2015 実行委員会について

「OpenStack Days Tokyo

2015」は、日本OpenStackユーザ会のボードメンバーから選出された13名により構成されるOpenStack Days Tokyo 2015 実行委員会が企画・運営を担います。

・長谷川 章博（株式会社ビットアイル）※委員長
・荒井 康宏　（一般社団法人クラウド利用促進機構(CUPA)）
・加藤 智之　（富士通株式会社）
・北川 大輔　（クリエーションライン株式会社）
・金野 諭　（アセアン・ラボ株式会社）
・高橋 千恵子　（日本電気株式会社）
・鳥居 隆史　（日本電気株式会社）
・中島 健　（Canonical, Ltd.）
・中島 倫明　（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）
・真壁 徹　（日本ヒューレット・パッカード株式会社）
・増月 孝信　（デル株式会社）
・松尾 茜　（ミドクラジャパン株式会社）
・松本 賢一　（NTTソフトウエア株式会社）

■ 日本OpenStackユーザ会について

---

http://openstack.jp/
日本OpenStackユーザ会(Japan OpenStack User Group=JOSUG)
は、オープンソースのクラウド基盤ソフトウェア「OpenStack」の普及や人材育成に寄与することを目的として、2010年10月22日
に設立しました。JOSUGは、クラウド基盤ソフトウェアを包括的に扱うコミュニティであるオープンクラウドキャンパス(opencloud.jp)の一部(分会)として、OpenStackに関する日本語による情報発信やセミナー、勉強会などの活動を行っており、OpenStackに興味を持つ個人、団体、企業は誰でもコミュニティに参加できます。
JOSUGの発足メンバーは、(株)NTTデータ、NTTデータ先端技術(株)、仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ(VIOPS)、一般社団法人クラウド利用促進機構(CUPA)、クリエーションライン(株)、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所、(株)ミドクラ、(株)モーフ・ラボ(以上、50音順)です。2014年11月
現在、発足メンバーに加え、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)
インターネットイニシアティブ、NTTソフトウエア(株)、沖縄科学技術大学院大学学園、Canonical、クラウディアン(株)、GMOインターネット(株)、デル(株)、日本電信電話（株）(NTT)、日本ヒューレット・パッカード(株)、(株)日立製作所、(株)ビットアイル、富士通(株)が加わり、合計21の企業・団体により運営されています。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com